

分類	区分	No	項目	詳細	必須項目
アプリ機能要件	基本項目	1	費用	ユーザーはアプリを無料で使用することができ、使用にあたって費用は発生しない	○
		2	使用言語	全画面日本語で表示する。文字化け等が発生しないよう留意すること	○
		3	参加者情報管理	ユーザーをID等一意な値で管理でき、アプリを再インストールした際もデータを引き継ぐことができる	○
		4	動作端末	スマートフォン（Android、iOS）上で動作し、OS等のバージョンアップがあった際も追加費用が発生することなく対応できるよう配慮すること	○
		5	ユーザーインターフェース	高齢者やスマートフォン初心者にも操作がわかりやすいような画面設計がされている例）ホーム画面からの各機能への導線、よく使う機能への導線がわかりやすい等	○
		6		利用する端末の機種や画面サイズによって、画面レイアウトが崩れることはない	○
	通知	7	お知らせ機能	お知らせやイベント告知などのプッシュ通知を行うことができる（通知バーやダイアログが表示されること）	○
		8	通知設定	通知の有無は設定で変更ができること	○
		9	個別通知	アプリの利用状況や歩数等の活動状況や、個人の属性情報等に応じて、活動促進のための適切な通知を送ることができる	○
	アンケート	10	アンケート作成（管理者用）	アプリから回答ができる任意のアンケートが作成できる（外部WEBサービスのフォーム等を用いる場合は、アプリから申込画面にスムーズに遷移できるよう工夫されていること）※アンケートの内容は市と委託者で協議する想定	○
		11	アンケート回答	アプリ内でユーザーがアンケートを回答することができる（外部WEBサービスのフォーム等を用いる場合は、アプリから申込画面にスムーズに遷移できるよう工夫されていること）	○
	問い合わせ	12	問い合わせフォーム	ユーザー向けの問い合わせフォームがある	○
		13	Q&A	「よくある質問・回答」がアプリから閲覧できる	○
	ユーザー情報	14	情報登録	氏名（ハンドルネーム不可）、住所、生年月日、性別等を登録できる	○
		15	情報の変更	ユーザーの入力情報を、ユーザー自身が随時変更できる	○
		16	基礎データの記録	身長・体重などの個人のパーソナルヘルス情報を登録できる	○
		17		身長・体重の情報からBMIを表示することができる	
		18		体重やBMIなどの記録をグラフ化して可視化できる	
		19	健（検）診記録	受診記録（受診日、受診機関、受診内容等）を記録することができる	○
		20		健診結果を記録することができる	
	運動に関する機能	21	歩数	歩数のデータを自動で収集しアプリ内で表示できる（過去1年以上）	○
		22		収集した歩数データは、日、週、月などの単位でグラフ化して可視化できる	○
		23		任意の歩数で獲得ポイントが設定できる 例）3000歩以上…2pt, 5000歩以上…4pt, 7000歩以上…6pt、8000歩以上…2pt, 9000歩以上…2pt, 10000歩以上…4pt	○
		24	自転車利用	自転車の利用に対してポイントを付与することができる（自己申告でも可）	
		25	自己申告	自動で計測が難しい運動（筋トレやヨガ等）についてポイントを付与することができる	
	栄養・食生活に関する機能	26	情報提供	お知らせ配信等で食の健康にかかわる情報の発信ができる	○
		27	セルフチェック	食に関する事項についてポイントを付与することができる（自己申告でも可）例）一日三食の達成、栄養素のバランスチェック、副食の数等を想定	○
	社会参加に関する機能	28	グループ登録	アプリを使用しているユーザー同士が、アプリ内でグループを作成できる	○
		29		グループメンバーが協力して楽しめる機能・イベント（グループ対抗戦など）がある	○
		30	イベントへの参加	市の主催イベントや健康講座・健康関連イベント等への参加について、ポイントを付与することができる	○
		31	イベント情報の通知	ポイントが付与されるイベントについてアプリ内で通知ができる	○
		32	イベント情報の確認	ポイントが付与されるイベントの予定や詳細情報（開催期間、開催場所、獲得ポイント数、イベント情報など）をカレンダー等のわかりやすい形で表示することができる	
	ポイント管理	33	ポイントの表示	現在保有しているポイントがアプリ内でわかりやすく表示される	○
		34	ポイントの使用	アプリ内でポイントを使用して特典への応募ができる	○
		35	ポイントの獲得履歴	ポイントの獲得履歴（何の行動に対して何ポイント獲得）を見ることができる	
		36	ポイントの有効期限	ポイントに有効期限を持たせることが可能である	○
		37	ポイントの差し引き	ポイント交換申請に必要なポイントを使用した場合、即時差し引きできる機能を有すること	○
	ポイント獲得	38	二次元コードの読み取り	二次元コードの読み取りによってポイントが獲得できる	○
		39	アンケート回答	アンケートを回答するとポイントが獲得できる	○
		40	友達紹介	友達を紹介するとポイントが獲得できる	
		41	動画視聴	指定の動画を視聴するとポイントが獲得できる	
		42	アプリ起動	アプリ初回ダウンロード時にポイントが獲得できる	○
	申込状況管理	43	応募	申込状況の確認がアプリから行える（外部WEBサービスのフォーム等を用いる場合は、アプリから申込画面にスムーズに遷移できるよう工夫されていること）	○
		44	申し込み一覧	ポイントの交換に必要なポイント数がアプリから確認できる	○
		45	交換申請の差し戻し	参加対象者以外の交換申請があった場合、申請を退け、差し戻すことができる。	○
	協力関係機関・ポイント付与店	46	広告表示	事業に協賛する機関をPRする情報がアプリ内に表示可能である	
		47	ポイント付与店情報	ポイント付与店の情報がアプリから確認できる	○
		48		ポイントの獲得ができる店舗の場所が、マップで表示できる	○
		49	ポイント付与店検索	ポイントの獲得ができる店舗が検索できる （ポイント種別、名称、住所等）	○
	ゲーミフィケーション要素	50	継続のための仕組み	達成感に繋がる、競争心が煽られる、新鮮味を感じられる等の、ユーザーが飽きずにアプリを使い続けられる工夫がある例）期間限定ポイント〇倍、ミッション、ランキング等	○
	デジタル技術の活用	51	ウェアラブル端末との連携	スマートウォッチ等のウェアラブルデバイスと連携し、スマホを持ち歩かなくても歩数の反映が可能である	